

#### 4 持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化

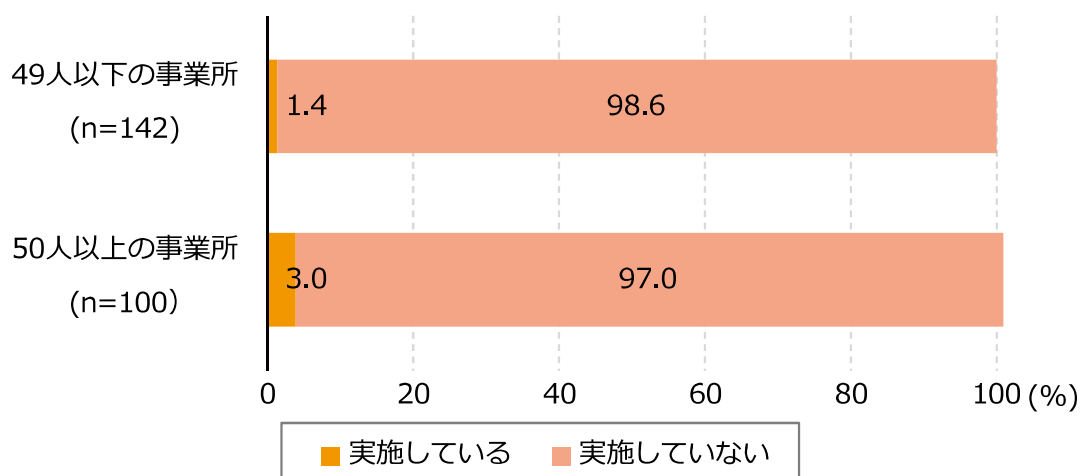
【目標】歯と口の健康づくりを円滑かつ効果的に推進するため、保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育、その他の関係機関との有機的な連携を図る。

##### (1) 市民が学校や事業所等のあらゆる場面において歯と口の健康づくりを推進できる環境整備

○現状 (学校における現状は、P17～18、P21～24に記載しています。)

・事業所における歯科健診の実施率は低い状況です。

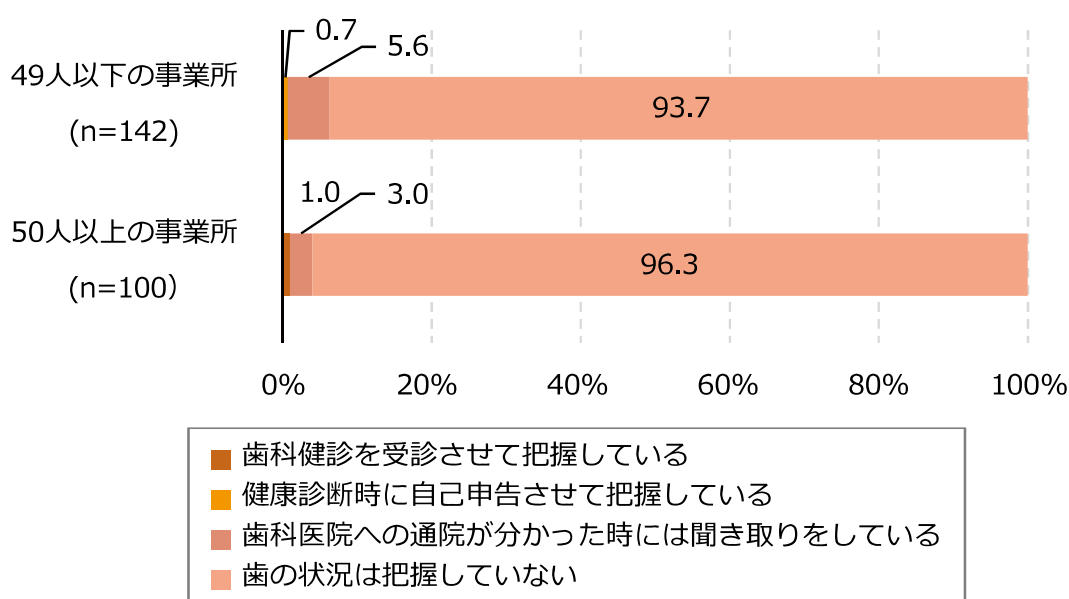
図46 事業所の健康診断における歯科健診の実施の有無



【出典】RI 歯と口に関するアンケート調査(健康づくり推進課)

・従業員の歯の病気について把握している事業所は少ない状況です。

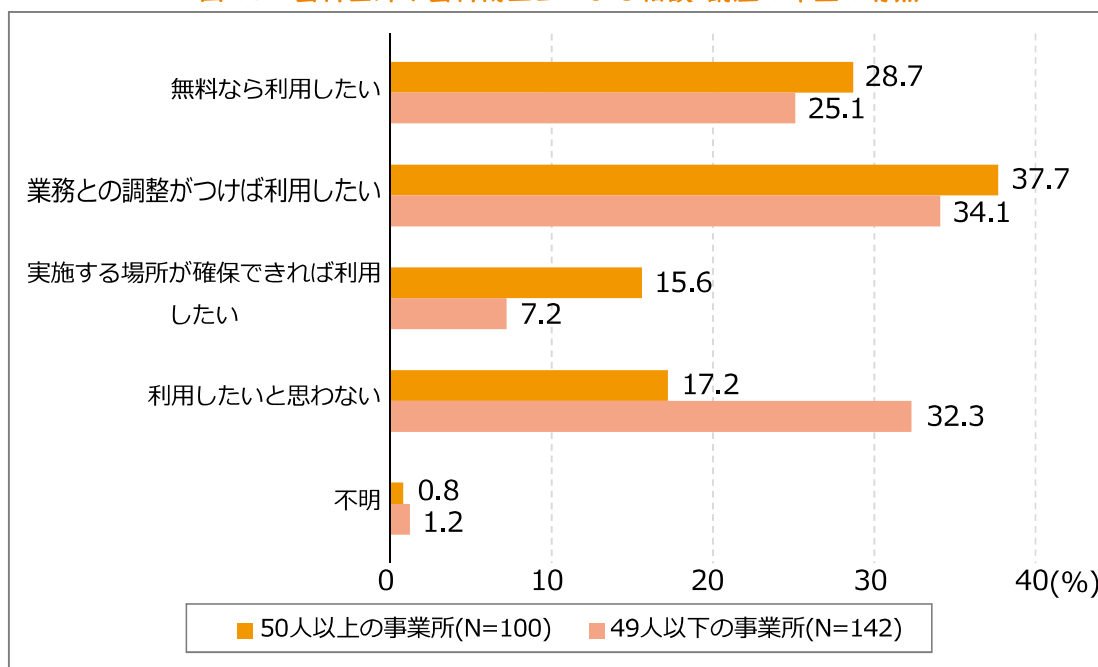
図47 事業所の従業員の歯の病気についての把握状況



【出典】RI 歯と口に関するアンケート調査(健康づくり推進課)

・「歯科医師等が事業所に出向いて行う歯と口に関する相談や講座」は、「業務との調整がつけば利用したい」「無料なら利用したい」と回答した事業所が3割程度見られました。

図48 歯科医師や歯科衛生士による相談・講座の希望の有無



【出典】RI歯と口に関するアンケート調査(健康づくり推進課)

### ○これまでの取組

・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において、春の定期歯科健診を実施するとともに、その結果に基づき、治療が必要な場合は受診勧奨などの事後処置を行っています。

### ○課題

- ・事業所において、歯科健診が受けられる体制の整備が必要です。
- ・健康経営の視点から、事業所における従業員の歯と口の健康状態を把握することは重要であり、理解を進める必要があります。

### ○施策の方向性

- ・生活習慣病と歯や口の病気がどのように関係するのか、労働衛生部門との情報共有を図ります。
- ・事業所において、従業員が歯科健診を受けられるよう進めるとともに、事業所にその意義や体制整備について理解を得られるよう働きかけを行います。
- ・学校においては、健診のみならず、学校歯科医による定期的な歯科健康教育・歯科保健指導が充実できるよう働きかけます。
- ・歯と口の健康週間をはじめ、健康増進普及月間や食育普及月間など各方面から歯と口の健康の重要性について啓発していきます。

## ○指標の設定

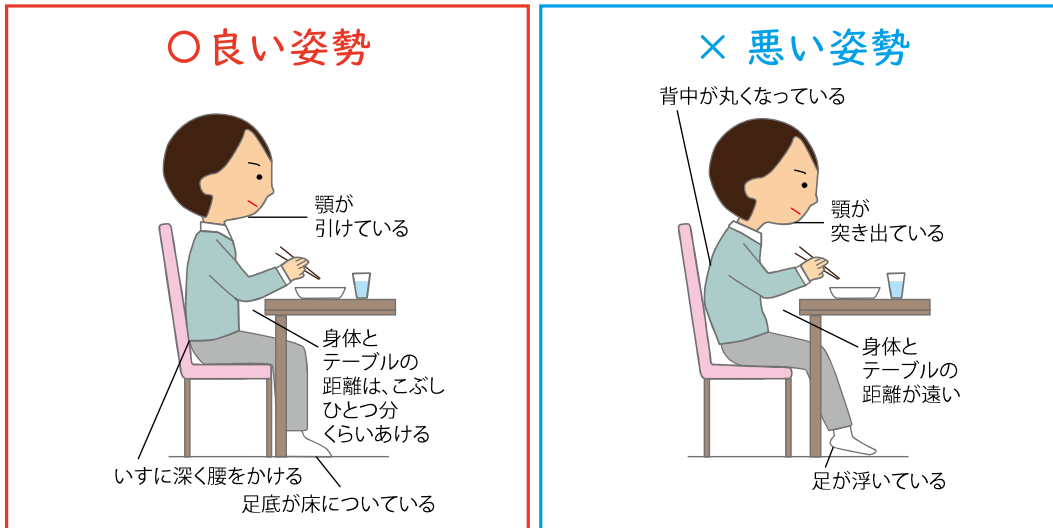
指標名	調査対象	調査名 (調査頻度)	ベースライン値 (年度)	最終 目標値
歯科健診を実施している 事業所の割合	49人以下の 事業所	歯と口に関するアンケート調査(歯科保健調査年)	1.4%(R1)	増加
	50人以上の 事業所		3.0%(R1)	増加
従業員の歯の病気について 把握している事業所の割合	49人以下の 事業所		6.3%(R1)	増加
	50人以上の 事業所		4.0%(R1)	増加
歯科専門職による 歯の健康教育を行っている 校数 (再掲)	小学校		19/88校 21.6%(H30)	全校
	中学校		4/51校 7.8%(H30)	増加
	高等学校	4/19校 21.1%(H30)	増加	

## ○行政の取組

事業名	事業の概要	担当
歯と口の健康週間	歯と口の健康週間(6月4日～10日)に合わせ、イベントや歯のコンクール等を実施し、市民の歯科保健に対する意識の向上を図ります。	健康づくり推進課
健康増進普及月間 健康づくり普及啓発 事業	9月1日～9月30日の健康増進普及月間に、健康づくりに関するパネル展示やイベントを開催します。	健康づくり推進課
世界禁煙デー・ 禁煙週間 普及啓発事業	5月31日の世界禁煙デーに、タバコの害に関する知識や受動喫煙防止について、普及啓発を行います。 5月31日～6月6日の禁煙週間に静岡庁舎、清水庁舎にてタバコの害に関する知識や受動喫煙防止についてのパネル展示を実施します。喫煙が歯周病に与える悪影響について周知を図ります。	健康づくり推進課
食育普及啓発事業	静岡市食育推進計画に基づき、「食育月間」「食育の日」等の機会に普及活動を通じて、静岡市らしい食育を推進します。	健康づくり推進課
静岡市食育応援団 事業	食育に関する知識や経験を持っている個人、団体、企業を「食育応援団」として登録し、食育に取り組む市民からの依頼内容に沿った応援団を紹介、市民に幅広く食育を推進していきます。	健康づくり推進課
食生活改善推進員 養成講座	地域の健康づくりを積極的かつ効果的に推進するため、健康増進・食生活改善のための知識や技術を習得した食生活改善推進員を養成します。	健康づくり推進課
受動喫煙防止対策	庁舎や出先機関等の事務所における受動喫煙防止対策を推進します。また、民間施設での望まない受動喫煙を防止するため、健康増進普及月間や飲食店組合等の講習会の場を活用しつつ制度の周知を図ります。	健康づくり推進課
職域への口腔保健 促進事業	従業員が歯科健診を受診しづらい中小規模の事業所に歯科医師・歯科衛生士を派遣し、歯科健診・歯科保健指導を行うことにより、歯科口腔保健の重要性に対する気付きを惹起し、かかりつけ歯科医における継続的な歯科受診につなげます。	健康づくり推進課

食事時の姿勢 意識したことはありますか？

美味しく 楽しく 安全に食事をするためには、姿勢を意識することが大切です。



ゆっくりよく噛んで食べることの利点 ~噛ミン<sup>か</sup>グ30<sup>さんまる</sup> (一口30回噛む) を実践しよう~

○胃腸の働きを促進する

…唾液中の消化酵素の分泌がさかんにになり、細かくかみ砕くことで胃腸の負担を和らげます。

○むし歯、歯周病、口臭の予防

…よく噛むことで唾液の分泌が増えるため、唾液の抗菌作用により口の中の清掃効果が高まります。

○肥満の防止

…ゆっくりたくさん噛むことで満腹感が得られ、食べすぎを防ぎます。

○脳の働きを活発にする

…噛むことで脳への血流が増加し働きを活発にするため、脳の若さを保ち、老化を防止します。

○発音をはっきりする

…口のまわりの筋肉が発達し、言葉の発音もはっきりします。

○がんを予防する

…唾液に含まれる酵素には、食品中の発がん物質の発がん性を抑制する効果があると言われています。



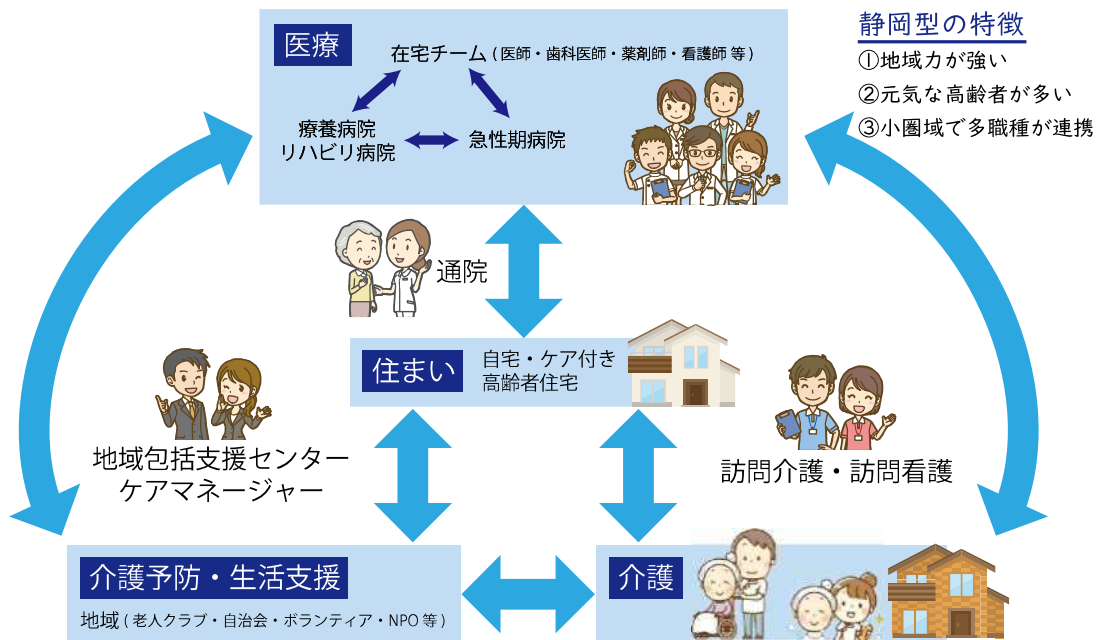
「いただきます」の一口目を意識して数えるところから始めましょう！

(2)関係機関との連携強化

○施策の方向性

- ・市民一人ひとりが子どもの頃から歯と口の健康に関する正しい知識を身につけ、生涯にわたって、歯と口を健康な状態に保つことができるよう、保育や教育等との連携を強化していきます。
- ・成人期(事業所については既出)、高齢期においては、必要なサービスを必要な時に受けられるよう地域包括ケアシステムをはじめとした保健、医療、介護等の連携を進めます。
- ・保健・医療・社会福祉等、各々の持つシステムについて広く情報共有するとともに、各機関の持つリソースについて理解し、それぞれが活用しやすい環境を整備します。
- ・糖尿病をはじめとする生活習慣病の患者さんが必要な治療や保健指導が受けられるよう関係機関と連携を取ることのできる体制を整備します。
- ・口腔衛生活動とは異なる活動を行う団体など(例:こども食堂)との協働も積極的に行っていきます。

図49 静岡型地域包括ケアシステム



5 科学的根拠に基づいた歯科保健施策の展開

【目標】各種データの積極的な利活用によりエビデンスに基づいた歯科保健施策を展開する。

○施策の方向性

- ・歯科保健事業の主体として実施する基礎自治体の強みを生かし、各種事業の結果を可及的に電子化した状態で保存し、詳細な分析を行うことにより、客観的にその事業評価を行います。
- ・学術分野で行われる各種研究や他自治体及び公的研究機関等が行う調査等が発信する情報を積極的に取り入れることにより、効果的・効率的に市民の歯と口の健康づくりを進めます。